

2月の行事予定

令和2年 1月17日

◆新しい年の始まり◆

冬休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。皆様は新年をどのようにお迎えになったでしょうか。また、お子様はどのような目標をもたれたでしょうか。

3月の卒業式・修了式までの登校日は45日間ほどです。一人一人が今やるべきことを見つめ、一年のまとめをしっかりと行い、来るべき次年度に備えることが重要な期間となります。自らの目標の実現に向けて努力を継続することができるように、附属釧路小学校教職員一丸となって、子供たちを支えて参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

◆タイムカプセル◆

冬休み中に、本校卒業生がタイムカプセルを取りに来ました(クラス会で開封するそうです)。その際、校内を見て回り、「プレイルーム」「児童玄関」「階段」「教室」といった施設や「学校の匂い」を懐かしんでいました。五感で感じたことは、長期記憶として保存されるそうです。素敵な笑顔で学校の思い出を話す卒業生を見て、とても嬉しい気持ちになりました。

現在通っている子供たちも、懐かしみながら学校を訪れる日がいつか来るのだと思うと、月日が経つことの早さと面白さを感じます。時間は万人に平等に与えられています。だからこそ、その時間をどのように過ごすかが大切になるのだと思います。皆さんは2020年をどのように過ごされますか？

日	曜	行 事 等
1	土	
2	日	
3	月	●附属運動推進日 ●租税教室(6年) ●附小ジャージ見本展示(~14日) ●スケート(2・3・5年) ●スクールカウンセラー来校
4	火	●朝読書 ●感冒調査 ●乗り入れ英語 ●スケート(1・4・6年)
5	水	●避難訓練予備日 ●乗り入れ算数(6-1) ●合同音楽(4・6年)
6	木	●朝読書 ●スケート(2・3・4年) ●乗り入れ算数(6-2) ●50周年実行委員会・協賛会解散総会及び懇親会 ★会議(15:40~17:00頃)
7	金	●全校朝会 ●スケート(5・6年) ●児童委員会 ●スクールカウンセラー来校
8	土	
9	日	
10	月	●短縮午前5時間授業日 ★会議(15:40~17:00頃)
11	火	祝 建国記念の日
12	水	●参観日(高学年)
13	木	●参観日(中学年) ●朝読書
14	金	●参観日(低学年) ●PTA各委員会経費・活動反省/学級活動費の決算報告書・領収書提出締切
15	土	
16	日	●附中新入学説明会(学習成果発表会)
17	月	●卒業おめでとう週間(~21日) ●児童委員会 ●1~3年:午前授業, 4~6年:5時間授業 ★会議(15:00~17:00頃)
18	火	●朝読書 ●感冒調査 ●お別れ給食(6-1)
19	水	●短縮午前5時間授業日(公教研のため) ●6年生を送る会 ●食育の日 ●朝読書
20	木	●六送会会場準備(4・5年生) ●お別れ給食(6-2)
21	金	●六送会
22	土	
23	日	祝 天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	●朝読書 ●感冒調査 ●乗り入れ英語 ●代表委員会
26	水	●給食費, PTA会費引落日(最終)
27	木	●朝読書
28	金	●短縮午前5時間授業日
29	土	
[3月の主な行事]		
● 2日(月) PTA役員総会 (三役・正副委員長, 次年度正副委員長就任予定者)		● 17日(火) 卒業式練習(3~6年)
● 3日(火) スケート(1・2・3年)		● 18日(水) 短縮午前5時間授業日(卒業式前日準備 美化美化デー)
● 4日(水) スケート(2・4・5年)		● 19日(木) 第50回卒業証書授与式 (午前授業*給食なし/1・2年生お休み)
● 5日(木) スケート(1・3年)		● 24日(火) 修了式・離任式 (1~3年午前授業, 4~6年5h授業)
● 11日(水) 卒業式練習(5・6年)		
● 13日(金) 卒業式練習(3~6年)		
*春休み(3月25日~4月5日) *令和2年度始業式: 4月6日(月) *令和2年度入学式: 4月7日(火)		

スケートリンク

釧路市内公立校では、今年度は少雪であることに加え、年末の雨の影響もあって、スケートリンクの造成に大変御苦労されているようです。

その点、本校は、保護者の皆様の御理解と、大学のバスを使えるという恵まれた環境のおかげで、アリーナを使ってのスケート学習が実現できています。ありがとうございます。

前述の先生たちからは、「公立校も、スケートリンク造成のために各校に配当されている予算を、バス代やリンク使用料に回せば、市内に3か所あるアリーナでの学習ができるのではないか」「昨今の気候状況から使用できる期間が短くなってきており、費用(労力)対効果が…」という声も聞かれました。

「スケート」について、学習指導要領(解説)には、「自然との関わりの深い雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動などの指導については、学校や地域の実態に応じて積極的に行うことに留意すること。」と記されています。これを受け、これまで道東地区の学校では、体育の学習にスケートを位置付け、少しでも子供たちがスケートに親しめる環境を整えようとスケートリンクを造成してきたのです。グラウンドにスケートリンクがあれば、体育の授業で気軽に利用できる他、短い時間ではありませんが、休み時間等でも活用することが可能です。一昔前であれば、冬休み中にスケートリンクができていましたので、学校のスケートリンクに遊びに来る子供の姿も見られました。

スケートリンクの造成を止めてしまうことは、こういった機会・環境を奪ってしまうこととなります。一長一短。難しい判断ですね。

子供がいる教員研修センターとして

本校の使命の1つに「サービスセンター・スクール」があります。研究成果等の本校の取組を広く発信し、公立学校の先生たちをはじめ、多くの方々に活用していただくというものです。

そのためには、データや紙面での発信という方法もありますが、実際の活動(子供たちや教員の姿)を御覧いただくのが一番効果的であると考えます。本校を「子供がいる研修センター」として活用していただくのです。

しかし今の時代、公立学校も多忙です。本校の研究会に合わせて複数の教員を派遣する余裕はなかなかありません。

そこで、本校は今年度から「研究会」を止め、「セミナー」を年間複数回開催することにしました。研究会だと同日にほぼすべての教科等が一斉に授業を公開します。参加する公立学校側とすれば、国語を観に行きたい先生と、算数を観に行きたい先生と…と同日に複数の教員が学校を空けなければならなくなります。それを、教科等ごと五月雨式に期日を設定し授業を公開する「セミナー」形式にすることで、今日は誰、明日は誰、1日に1人くらいなら…と、一層多くの先生たちは足を運んでいただけるのではないかと考えたのです。

これまでに、12日間にわたって開催、30以上の授業を公開し、1500人を超える方々が参加してくださいました(小・中合わせて)。この参加者数は、昨年度の研究会と比較すると3倍以上の数です。(受付等を簡素化することで、例年、保護者の皆様に御協力いただいていた「お手伝い業務」を無くすこともできました。)

こういった形のセミナーは、3学期も開催する予定です。リピーターも増やし、本校の使命を果たしていきたいと考えています。

研究会はセミナーという形に変えましたが、「毎日が参観日」という姿勢は変えておりません。保護者の皆様におかれましては、ぜひ、お気軽に学校に足をお運びの上、お子様の活動の様子を御覧ください。